

## 第4章 商業観光

商業観光課

### 第1節 商業

戦後一大発展をとげた平塚商業は、かつて本市の商圈であった近隣都市やロードサイドへの大型店等の進出、コンビニエンスストアの出店などによって、本市の中心商店街の集客力が低下し、商圈の縮小を余儀なくされている。

これを打開するため、中心市街地活性化法に基づき、平成13年度に策定した平塚市中心市街地活性化基本計画により、平塚商工会議所が設立した「湘南ひらつかTMO」による「チャレンジショップ」や「手づくり食工房」等の事業運営などを行ったが、平成18年の法改正で、基本計画の法的な位置づけが無くなり、「湘南ひらつかTMO」は平成22年度に終了した。その後、平成24年度に、平塚商工会議所により中心市街地活性化調整協議会が組織され、空き店舗に出店する事業者へ家賃補助を行う「平塚市中心市街地出店促進事業」等の中心市街地の活性化事業を開始した。平成28年度では、大型商業施設との差別化を図るとともに新たな顧客を呼び込むため、平塚市商店街連合会が主体となって「駅近キラ☆キラ商店街」事業及び「第1回まちゼミ」を実施した。また、商業の活性化には、個々の商店が魅力的、個性的であることが重要なため、個店の活性化を積極的に進め、平成21年度には、平塚商工会議所と平塚市商店街連合会の共催により、個店が逸品を打ち出すことで、魅力的、個性的な店舗づくりを推進する「平塚逸品研究会」が発足した。さらに平成25年度から、販売促進や経営支援等を目的に専門知識や経験を有するアドバイザーを派遣し、平成26年度からは、手作業にこだわり、伝統的な技や卓越した技術力等により、自店及び自社で製造した製品を販売する店舗及びサービスの提供を行う店舗を「匠の店」として認定する制度を開始した。

今後の本市の商業発展には、多様化、高度化する消費者ニーズに応える商店街の形成や近隣都市や近郊のショッピングセンター等との差別化を図る個性豊かな中心商店街づくり、商業集積を核とした文化・産業・娯楽などの複合したまちづくりに向けた具体的な事業の実施が課題である。

#### 1 商業の推移

##### (1) 卸売業・小売業の推移

区 分	種 別	16 年	19 年	26 年
商 店 数	卸売業	568店	537店	379店
	小売業	2,068	1,973	1,237
	計	2,636	2,510	1,616
年間商品販売額	卸売業	417,327百万円	475,319百万円	322,526百万円
	小売業	250,771	267,780	216,409
	計	668,098	743,099	538,936
1店当り販売額	卸売業	73,473万円	88,513万円	85,099万円
	小売業	12,126	13,572	17,495
	計	25,345	29,605	33,350
従業者数	卸売業	5,119人	6,369人	3,580人
	小売業	15,377	15,872	12,223
	計	20,496	22,241	15,803

平成26年商業統計調査結果

注：平成26年調査は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成19年調査の数値とは接続しない。

端数処理により、合計額が合わない場合があります。

ア 卸売業

東京卸売圏にあり比較的卸売の弱い神奈川県にあって、横浜市・川崎市・厚木市・相模原市に次いで販売額第5位となっている。

イ 小売業

小売業の年間商品販売額は2,164億円で、横浜市・川崎市・相模原市・藤沢市・横須賀市・小田原市に次いで7位となっている。

(2) 小売業業種別状況

業 種 別	商店数	従業者数	年間商品販売額
百貨店・総合スーパー	1店	82人	X百万円
その他の各種商品	9	132	X
呉服・服地・寝具	22	77	768
男子服	19	95	1,788
婦人・子供服	78	528	6,919
靴・履物	18	57	1,105
その他の織物・衣服・身の回り品	60	340	3,251
各種食料品	28	2,102	34,188
酒	28	99	1,577
食肉	13	45	349
鮮魚	29	96	1,164
野菜・果実	27	250	3,214
菓子・パン	76	709	4,844
その他の飲食料品	178	2,327	26,789
自動車	105	893	29,482
自転車	19	39	331
家具・建具・畳	18	89	1,707
機械器具	54	512	20,214
じゅう器	21	58	610
医薬品・化粧品	138	1,226	24,323
農耕用品	4	40	2,299
燃料	54	467	17,194
書籍・文房具	33	530	5,689
スポーツ用品・玩具・娯楽用品・楽器	36	236	4,278
写真機・時計・眼鏡	20	101	1,152
他に分類されない小売業	112	797	12,315
通信販売・訪問販売	25	142	3,672
自販機による小売業	5	71	2,524
その他の無店小売業	7	83	442
計	1,237	12,223	216,409

平成26年商業統計調査結果

## (3) 人口に占める大型小売店の状況

地域別	人口	店舗数	1店舗当り人口	売場面積	1㎡当り人口	販売額	人口一人当り販売額
県	9,129,317人	696店	13,117人	3,045,366㎡	3.0人	229,725,188万円	25.2万円
平塚市	257,999	22	11,727	71,986	3.6	4,741,628	18.4

平成27年県大型小売店統計調査結果

## (4) 卸売業業種別状況

業種別	商店数	従業者数	年間商品販売額
各種商品	2店	4人	X 百万円
繊維品	1	4	X
衣服	8	21	837
身の回り品	4	17	X
農畜産物・水産物	30	552	57,619
食料・飲料	33	596	22,296
建築材料	53	460	115,770
化学製品	23	187	13,409
石油・鉱物	10	75	9,196
鉄鋼製品	6	56	2,133
非鉄金属	3	17	308
再生資源	13	111	2,054
産業機械器具	39	316	9,569
自動車	33	237	12,592
電気機械器具	24	181	14,260
その他の機械器具	17	194	11,762
家具・建具・じゅう器等	22	105	5,330
医薬品・化粧品等	14	161	26,233
紙・紙製品	6	30	1,891
他に分類されない卸売業	38	256	X
計	379	3,580	322,526

平成26年商業統計調査結果

注：「X」・・・1または2の事業所に関する数値で、個々の申告者の秘密が漏れるおそれがあるために秘匿した箇所。また、3以上の事業所に関する数値であっても、前後の関係等から秘匿の数値が判明する箇所も同様に秘匿している

## 2 主要施策

人々の価値観や消費者ニーズは高度化、多様化してきており、これらに適切に対応した経営力強化のための経営意識の啓発、商店街施設の改善、店舗の魅力アップ、商業指導などの推進施策を行った。

## (1) 商業活性化の推進

ア 商店街にぎわい創出事業

## (ア) 中心街活性化事業

中心市街地の活性化のため、事業の企画・実施を行う「中心市街地活性化調整協議会」

の運営に対して支援を行った。

(イ) にぎわい創出事業

市民とのふれあい促進、商店街の魅力発信など商店街の活性化を図るため、商店会が行う交流事業や販売促進活動事業への支援を行った。

(ウ) 商店街アドバイザー派遣事業

商店街の活性化を推進するために、商店街団体が行う事業に対し助言するアドバイザーを派遣した。

派遣商店会数 2 商店会 派遣回数 延べ 7 回

イ 市民プラザ運営補助事業

産業振興と市民の生活文化及びコミュニティの向上を図るため、展示と催事ができる多目的のホールとして設置された「ひらつか市民プラザ」の管理・運営に伴う経費等の補助を行った。

・ 47 行事 入館者延べ 43,300 人 1 日平均入館者 140 人

(2) 魅力ある商店街の形成

ア 商店等魅力アップ推進事業

(ア) 商業経営セミナー

実践で体感する店舗ディスプレイ講座～2016 Xmas Display～を実施した。

開催回数 2 回 参加者 延べ 16 人

(イ) 個店アドバイザー派遣事業

専門知識や経験を有するアドバイザーを派遣し、個店における販売促進や経営に関する支援を実施した。

派遣店舗数 17 店舗 派遣回数 延べ 35 回

(ウ) 平塚逸品研究会

新規顧客の開拓、リピーターの確保のため、各店のお勧めの逸品を発掘、開発するための活動に対し支援を行った。

開催回数 16 回 参加者 延べ 600 人

イ 商店街共同施設整備促進事業

商店街の環境整備を図り、その発展に資するため商店街が共同で整備する街路灯の改修費用の一部補助を行った。

ウ 商店街共同施設維持管理事業

商歩行者及び買い物客等の安全性、利便性及び快適性を高めるために、商店街に整備された商店街団体が管理する施設の電気料、上下水道料、アーケードの清掃等の維持管理に要する経費の一部補助を行った。

(3) 商業経営環境の強化

ア 平塚市商店街連合会補助事業

平塚市商店街連合会の運営に対し補助を行い、その育成に努めた。

## 第2節 計量

商工業者にとっては、量目等の正確な計量は、品質の向上、経費の節減等に直接関係することであり、また、消費者の信頼を醸成するためにも極めて重要である。本市の計量事務は、定期検査、立入検査及び啓発普及活動を通じて市内商工業の活性化に寄与することを主眼に実施した。

### 1 特定計量器の定期検査

取引・証明に使用する計量器（はかり）に2年に1回義務付けられている検査を、市内商工業者等を対象に、市の指定定期検査機関である（公社）神奈川県計量協会が実施した。

- ・ 電気式はかり・機械式はかり

はかりの種類（ひょう量）		検査台数
電気式	100kg 以下	295 台
	250kg 以下	82
	500kg 以下	2
	1000kg 以下	1
	100kg 以下（精度 1 万分の 1 未満）	21
機械式	直線指示ばかり他	1 台
	100kg 以下	318
	250kg 以下	11
	500kg 以下	0
	1000kg 以下	1
計		732

- ・ 大型はかり

はかりの種類（ひょう量）		検査台数
10t 以下		3 台
20t 以下		0
40t 以下		5
50t 以下		3
60t 以下		1
計		12

### 2 立入検査

計量法第 148 条に基づいて、計量器・量目に関する立入検査を行った。平成 28 年度に検査対象としたのは、LPGメーター、ガソリンメーター及び商品量目検査であった。

検査対象		事業所数	検査個数	不適正個数
計量器	LPGメーター（台帳検査）	2	8,206	0
	ガソリンメーター	4	75	0
	質量計	4	21	0
量目	スーパーマーケット（中元）	2	205	0
	スーパーマーケット（年末・年始）	2	160	0
	商品試買検査（家庭用合成洗剤）	1	25	0
計		15	8,692	0

### 3 計量管理思想の推進

県の定める、7月及び12月の「正量取引強調月間」及び11月の「計量管理強調月間」に、啓発用ポスター・ステッカー等を関係事業所や公共機関に掲示した。また、市のホームページに「平塚市の計量」を掲載するとともに、消費生活展では計量コーナーを設け、計量の普及啓発に努めた。

11月には、自ら計量管理を実施する適正計量管理事業所を対象に、県と合同で実態調査を実施した。

## 第3節 観光

近年、充実した余暇活動の場の提供が望まれている折から、比較的観光資源が乏しいといわれる本市においても、東に湘南潮来、西に湘南平をはじめとする「平塚八景」、その他市内に散在する数々の史跡、旧跡や伝統芸能等、市民の欲求にこたえられるものが数多くみられる。これらの観光資源の紹介、そして七夕まつりをはじめとする各種観光行事を実施するとともに、近隣市との広域連携や関係諸団体との連携などによる新しい観光資源の開発などにより、市民生活に潤いを与えつつ市民の郷土に対する愛着を深める諸事業を実施した。

#### 1 湘南ひらつか七夕まつりの開催

第66回を迎えた湘南ひらつか七夕まつりは、降雨に見舞われることもあったが、3日間で前年より10万人多い、155万人の観光客を迎えた。

メイン通りの湘南スターモールの飾りは84本を数え、中心商店街全体としては、531本もの七夕飾りが掲出された。

公募による市民飾りが30本掲出されたほか、企業版市民飾りから名称を変更した企業手作り飾りが7本、子ども飾りは21本で市民参加型の飾りが多数掲出された。

織り姫と音楽隊パレードは、雨が降る中、東海大学吹奏楽研究会が参加を決定し、2代の織り姫は、オープンカーを使わず徒歩でのパレードとなった。

イベント会場となった見附台広場は、「～出会い・願いの広場～」と題し、様々なイベントが開催された。

「七夕ステージ」では、市民公募によるパフォーマンスのほか、県警音楽隊とカラーガード隊、ドラえもん握手撮影会、くまモンとくまモン体操、ご当地キャラ大集合、HANDSIGN LIVEなど子どもから大人までが楽しめるステージパフォーマンスが行われた。同広場では、平塚青年会議所による「たからいち」（市内飲食店20店舗によるご当地グルメ）の開催や動く恐竜などが出現し、おまつり会場として大いに賑わったほか、最終日には、第65回湘南ひらつか織り姫で女子プロレスラーでもある松本浩代選手が出場する平塚七夕プロレスを実施し、多くの観光客が青空プロレスを楽しんだ。

#### (1) 主 催 湘南ひらつか七夕まつり実行委員会

(平塚市、平塚商工会議所、平塚市商店街連合会、(一社)平塚市観光協会等)

- (2) 後援 神奈川県、(公社)神奈川県観光協会、東日本旅客鉄道(株)横浜支社、神奈川県中央交通(株)、小田急電鉄(株)、神奈川県新聞社、t v k (テレビ神奈川)、(株)湘南ジャーナル社、(株)湘南リビング新聞社、(株)タウンニュース社、湘南ケーブルネットワーク(株)、(株)湘南平塚コミュニティ放送
- (3) 期 日 7月8日(金)～10日(日)
- (4) 開催補助金 60,260,000円
- (5) 観光客数 1,550,000人(3日間)
- (6) 主な行事 織り姫セレクション、七夕飾りコンクール、七夕ステージ、市中訪問、織り姫と音楽隊パレード、七夕おどり千人パレード、たからいち、平塚七夕プロレス、巨大恐竜ロボット、ひろえば街が好きになる運動など

## 2 湘南ひらつか花火大会の開催

夏の風物詩として好評の湘南ひらつか花火大会は、市民を始め一般観光客の誘致を図り観光地を紹介するため開催された。

- (1) 主催 平塚市
- (2) 実施団体 湘南ひらつか花火大会実行委員会  
(平塚市、平塚商工会議所、平塚市商店街連合会、(公社)平塚青年会議所、(一社)平塚市観光協会等)
- (3) 後援 神奈川県、(公社)神奈川県観光協会
- (4) 期日 8月26日(金)
- (5) 開催委託料 7,400,000円
- (6) 観光客数 150,000人
- (7) 打上げ発数 約3,000発

## 3 観光団体

### (一社) 平塚市観光協会

- (1) 会員 101人(団体101、個人0) 役員26人 平成29年3月31日現在

### (2) 予算

○一般会計	18,520千円
○特別会計(観光史跡整備資金)	200,100円
○特別会計(市民プラザ運営管理事業)	6,073千円
○特別会計(市民プラザ常設販売事業)	1,203千円

### (3) 主な実施事業

○シロギス沖釣り大会	5月28日(土)	参加者115人
○観光風景写真コンクール	募集6月16日(木)～7月25日(月)	応募点数736点 展示10月27日(木)～11月1日(火)
○菊花展・菊花コンクール	11月1日(火)～11月16日(水)	応募点数155鉢
○湘南ひらつか七福神めぐり	計11回実施	参加者185人

○観光客誘致事業

- ・ひらつか市民プラザ内「観光物産販売コーナー」での名産品展示販売

○地域観光資源情報発信事業

- ・web サイト「湘南ひらつかナビ」による各種情報の提供やフェイスブック等での情報発信  
オンラインギフトショップ「平塚ギフト」・バナー広告掲載

4 主な名所の年間観光客数（神奈川県観光客入込調査報告書による）

- 湘南平 655,000 人
- 湘南潮来 170,000 人

5 近隣市町との広域観光

○湘南地区観光振興協議会

協議会の一員としてPR用リーフレットを作成するとともに、県外キャンペーン等の誘客活動を行った。

○丹沢湘南観光連携会議

東海大学や近隣市町等と連携し、インバウンド観光の推進を探るため、外国人 205 名に対して面接アンケートを実施した。

○圏央道沿線でのキャンペーン

神奈川県観光協会と連携し、圏央道沿線である埼玉県所沢市で誘客活動を行った。

10月30日（日） 第37回所沢市民フェスティバル会場内（埼玉県所沢市）

○上野東京ライン沿線でのキャンペーン

神奈川集中観光キャンペーンと連携し、横浜駅で誘客活動を行った。

10月12日（水）及び10月13日（木） 横浜駅東口・新都市プラザイベントスペース

○伊勢原市との連携

「大山詣り」が日本遺産に認定（平成28年4月）されたことを記念し、平塚市内の「おおやまみち」の紹介や、相互の誘客推進目的に誘客活動を行った。

2月22日（水） ららぽーと湘南平塚 光の広場

6 観光資源の紹介

○ホームページにより市内観光資源を紹介した。

○健康ウォーキングとの連携ハイキング

健康推進員連絡協議会と連携し、健康ウォーキングとして、観光資源を巡るハイキングを実施した。

9月13日（火） 須賀港 ※雨天のため中止

10月11日（火） 参加者 69 人 花菜ガーデンほか

○平塚市民・大学交流委員会事業

公募により参加した東海大学観光学部生の視点で平塚市内の観光資源を掘り起こし、学生目線の平塚散策コースマップ作成を進めた。



○やすらぎ回廊「水と光と緑の散歩道～平塚のバラの名所をまち歩き～」ハイキング

やすらぎ回廊を広くPRするとともに観光素材を発掘、調査をし、今後の観光ツアー等に活用するためにモニターハイキングツアーを実施した。

5月18日（水） 参加者13人 旧横浜ゴム記念館、横浜ゴム(株)平塚製造所、総合公園、ホテルサンライフガーデンほか